

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		須屋支所維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	市民部	課長名	緒田恵子
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	市民課	担当者名	中山清美
	基本事業	86	市民サービスの向上			所属班	須屋支所	(内線)	5010
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	12	
	1	2	1	18	11333		コスト削減優先度評価結果	6	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H15 年度)		期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	須屋支所の維持管理及び運営管理を行なう事業 ・当時の町長マニフェストにより、平成15年4月に人口密集地である須屋地区住民の利便性向上を図るために開設した。合併後も引き続き運営している。 ・利用者の増加、業務の広範囲化による職員一人当たりの業務の負担増、また平成21年度は須屋線改修工事に伴い、狭くなった駐車場を補充するため、支所隣地を借り駐車場として整備した。(駐車場の賃借料は、22年度から須屋支所維持管理事業で計上する。)
【業務の流れ】	①賃貸借契約等(コピー機、警備委託、借地契約等)②修繕費、光熱水費、委託料、賃借料の支払い③須屋支所駐車場整備に伴う土地賃貸借契約
【主な予算費目】	①需用費(消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費)②役員費③委託料④使用料及び借地料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・須屋市民センター等との統合案等がある。 ・近くに支所があり便利、この業務環境を維持してもらいたいとの意見。 ・土、日の開所の要望。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
・須屋支所の維持管理及び運営管理を行った。 ・21年度は須屋線改修工事に伴い、狭くなった駐車場を補充するため、支所隣地を借り駐車場として整備した。	21年度に同じ
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 施設利用者数	人 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
施設利用者	⇒ ア 施設利用者数 人
⇒ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
・施設を適切に維持管理を行う。	⇒ ア 施設の瑕疵による事故件数 件数
⇒ イ	
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	人		30520	31000	38354	31000	31000	31000
	イ								
⑤ 対象指標	ア	人		30520	31000	38354	31000	31000	31000
	イ								
⑥ 成果指標	ア	件数		0	0	0	0	0	0
	イ								
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円		15,501				
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	2,964	2,380	2,400	2,720	3,339	3,339
	(A) 事業費計	千円	2,964	17,881	2,400	2,720	3,339	3,339	3,339
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件費	正規職員従事人数	人	4	3	4	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	48	96	48	148	148	148	148
	(B)人件費計	千円	191	384	191	589	589	589	589
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,155	18,265	2,591	3,309	3,928	3,928	3,928

総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0
	0

合志市

事務事業名	須屋支所維持管理事業	所属部	市民部	所属課	市民課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ ・維持管理は必ず必要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ ・現状でも職員で一部施設内清掃を行なうことにより、清掃費を減らす等努力を行なっている。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ ・市の窓口サービスを提供する施設であり、公平性の評価には該当しない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策